

令和3年度

事業報告書

社会福祉法人ほのぼの苑

令和3年度事業概要

令和3年度の介護報酬の改定率は0.70%のプラス改定であったものの、新型コロナウイルス感染症への対応やデイサービス、ショートステイの利用制限により厳しい経営環境となっております。社会福祉法人は、これらの感染症や自然災害発生時でもご利用者様に必要なサービスが安定的・継続的に提供できる体制の構築が求められており、当苑においても、コロナ感染対策を継続しつつ、令和2年4月より休止していたショートステイ8床のうち4床が、昨年11月に再開する運びとなりました。また、デイサービスにおいてもデイ事務所を移動し利用者の方のスペースを確保することで、安定的な利用率の確保に努めました。

また、令和3年度の介護保険改正では、自立支援・重度化防止の取組を適切または効率的に行うため、「介護サービスの質の評価と科学的介護の取組の推進」や「寝たきり防止等、重度化防止の取組の推進」が求められており、当苑においても、入所者様の重度化がみられる中で、多職種連携により、サービスの質の評価やデータの活用を行いながら、科学的に効果が裏付けられた質の高いサービスが提供できるように努めています。

また、令和4年3月には県より一部無資格者の喀痰吸引等業務に係る改善勧告を受けました。この事態を真摯に受け止め、早急に是正改善いたしました。このような事態に至ったことを深く反省し、今後の再発防止に努めてまいります。

一方で、当苑は開業以来21年が経過し、建物や設備機器等の老朽化が進行してきましたので、冷温水ポンプ入れ替え、1階漏水工事、大浴場等の修繕やフロアマットの張替えを行うなど、介護環境の整備改善を図りました。

今後とも基本理念に掲げる「みんなで笑顔のために」のもと、施設のご利用者様、ご家族や地域の皆様に愛され、信頼される施設を目指し、職員一丸となって一生懸命頑張っております。

【事務グループ事業報告】

令和3年度、事務グループでは、施設の補修と資料の整理整頓に取り組んでおります。詳細は下記の通りです。3月末までの利用者状況については別紙の通りです。

項目	内容	備考
制度改正対応	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険限度額認定の更新について、事前に対象者ご家族に案内を実施 ・令和3年4月より科学的介護推進体制加算Ⅱ、認知症専門ケア加算Ⅱを算定 	
職員の動向・雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・4月介護職3名、9月介護職1名、理学療法士1名、12月介護職2名を採用。3月末までに退職者6名。 ・育児短時間勤務者に対する案内・手続等を実施(3月末現在の産休育休者は1名、時短勤務者は3名) ・令和3年度ユースエール認定企業として認定される 	
施設設備の補修	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場拡張工事(3台) ・デイサービス事務所設置 ・全フロアのカーペット張替え ・2階ひまわりフロア食堂前の床の張替え ・2階西側エレベータ付近にLED照明設置 ・2階西側エレベータ付近に扇風機設置 ・2階大浴場排水溝塗膜防水補強 	
各種修繕	<p>冷却水ポンプ入替、冷温水ポンプ入替、消防設備(非常灯、火災報知器、ハンドルボックス)居宅照明器具(LED)、2階自動ドア、温冷配膳車、利用者トイレ1か所、1階利用者トイレ床張替え、職員トイレ2か所、食器洗浄機、車イス・回診車、軽リフト車、エブリワゴン車等</p>	
備品等更新	<p>デスクトップパソコン1台、回診車、福祉車両1台(中古車)、PHS1台利用者用ソファ8台、職員用簡易ベッド3台検食冷凍庫1台、包丁まな板殺菌庫1台調理器具(移動台1台、モービルシンク2台、盛付台4台等)、歩行器1台、車イス1台、利用者用クッション5個等</p>	

利用者状況等報告

1. 令和3年度 サービス別稼働率

	施設		短期入所		通所介護	
	利用延人数(人)	稼働率	利用延人数(人)	稼働率	利用延人数(人)	稼働率
4月	3,183	96.5%	60	20.0%	242	73.3%
5月	3,341	98.0%	62	20.0%	220	69.8%
6月	3,256	98.7%	60	20.0%	259	78.5%
7月	3,339	97.9%	62	20.0%	287	87.0%
8月	3,310	97.1%	62	20.0%	299	90.6%
9月	3,177	96.3%	60	20.0%	284	86.1%
10月	3,303	96.9%	62	20.0%	285	90.5%
11月	3,184	96.5%	147	49.0%	270	81.8%
12月	3,352	98.3%	148	47.7%	256	77.6%
1月	3,325	97.5%	136	43.9%	269	89.7%
2月	2,998	97.3%	156	55.7%	233	77.7%
3月	3,320	97.4%	185	59.7%	298	86.4%
合計	39,088	97.4%	1,200	32.9%	3,202	83.1%
令和2年度	39,141	97.5%	1,049	28.8%	2,194	56.9%

2. 市町別施設入所状況 令和4年3月31日現在

	南越前町			鯖江市	越前市	敦賀市	合計
	南条	今庄	河野				
男	8	6	0	0	10	0	24
女	36	12	1	1	32	1	83
合計	44	18	1	1	42	1	107

3. 施設サービス年齢別状況

令和4年3月31日現在

	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	合計
男	0	0	1	0	3	10	9	1	0	24
女	0	2	0	3	15	17	26	18	2	83
合計	0	2	1	3	18	27	35	19	2	107

平均年齢 89歳(男:88.1歳、女:89.3歳)

最高齢:102歳、最年少:66歳

4. 施設サービス介護度別

令和4年3月31日現在

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	更新申請中	合計
男	0	0	9	11	4	0	24
女	0	1	31	28	23	0	83
合計	0	1	40	39	27	0	107

平均要介護度 3.86(昨年度3.83)

5. 施設在苑期間別

令和4年3月31日現在

	6ヶ月未満	6ヶ月～1年	1年～2年	2年～3年	3年～5年	5年～7年	7年～10年	10年～15年	15年以上	合計
男	7	1	5	4	4	1	1	1	0	24
女	11	11	14	19	13	9	3	3	0	83
計	18	12	19	23	17	10	4	4	0	107

平均在所期間:2年10ヶ月

【企画相談グループ事業報告】

企画相談グループでは、施設内においての多職種連携の要として、入退所に伴う迅速な対応と新規入所者の正確な情報提供及び、各委員会の中心となり施設サービスの質の向上を図れるよう努めた。その他、自然災害による備えの必要性から避難訓練の実施やコロナ感染対策を引き続き実施した。

また地域貢献活動として、新たに地域の認知症の方や介護家族を対象に認知症カフェを開催した。

項目	内容	備考
中長期計画策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年～8年度までの5年間の中長期計画の策定検討し3月理事会へ素案を提出 職員提案による①くつろげるスペースづくり②日替わりレクリエーション③利用者との花壇づくりの計画実施 	(毎月第4月曜日)
人材育成委員会	<ul style="list-style-type: none"> 苑内研修の企画実施と苑外研修への参加調整を図る 個別研修目標シートの作成と個人面談の実施 「ほのぼの苑自立支援型介護実践員養成研修」を企画実施し、7名参加終了 	(毎月第2水曜日)
看取り介護委員会	<ul style="list-style-type: none"> 看取り介護実施に関するアンケート実施し、満足度調査に加えて、あがった課題に対して、その都度委員会にて検討している 令和3年度の看取り介護をうけられた方は22名 	(毎月第3木曜日) ・看取り介護実施に関するアンケート
科学的介護推進に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> R3. 4～科学的介護推進体制加算取得し、入所者全員の「基本情報、病気、服薬、基本動作、栄養、認知症症状の情報」について厚生労働省(LIFE)に情報提供実施 今後は科学的介護の取組の推進のため、フィードバック情報の活用や排泄支援加算、個別機能訓練加算、褥瘡ケア加算の取得に向け検討行っていく 	・科学的介護推進体制加算(R3. 4～)
入所順位判定委員会	<ul style="list-style-type: none"> 入所基準に準じた必要性、緊急性等公平な判定と入所順位の高い人に対して正確な情報を収集し、入所の安定化と迅速化を図った 令和3年度新規入所者は31名、待機者は80名 	(毎月1回実施)
ショートステイ	<ul style="list-style-type: none"> コロナ感染対策により受け入れの一部制限実施していたが、11月より4床を新たに稼働し、3月末時点では7床の稼働となった 	
災害時に備えた取組	<ul style="list-style-type: none"> 水害避難訓練(7/28)、参集訓練(3/27)、通報訓練(3/31)の実施 	
ボランティア・実習生の受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> 婦人福祉ボランティア 草むしり(6月、9月、11月) 鋳物師壮年会 雪吊り(11月) 門松作り(12月) 武生看護専門学校実習生9名(10月) 	
地域における公益的活動	<ul style="list-style-type: none"> 地域ふれあいサロンに出向き、苑で取り組んでいる内容を紹介し、令和3年度は16か所165名のサロン利用者に参加いただく 福井県社会福祉法人連携事業推進協議会に参加し「ふく福暮らしサポート事業」として生活困窮者に対する相談・生活支援事業に参加、3年度の実績は1件 地域の認知症の方や介護家族の方に呼びかけ、認知症カフェ「ほのぼの」を開催 11月27日 18名参加、12月18日 18名参加 	(毎月1～2回) ※各集落の公民館にて実施 (利用実績1件) (年4回、うち2回はコロナ感染対策により中止) ※デイサービスにて実施

【介護G事業報告】

介護グループでは、それぞれのフロアの特徴を生かしたケアを展開し、重度化する利用者の方々に対して、ご家族、多職種と連携をとりながら援助している。昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響による行事や面会の制限が余儀なくされ、外出や他者と交流する機会が減少されていたが、各フロアが工夫を凝らして入所者の方に楽しみのある生活が送れるようサポートした。また、県より喀痰吸引等業務に係る改善勧告を受け、勧告事項の改善にあたった。

項目	内容	備考
喀痰吸引等業務の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・経管栄養に関して、認定特定行為従事者の認定を受けた者による実施の徹底 ・喀痰吸引マニュアル、胃ろうによる経管栄養マニュアルと実施記録表を新たに作成した ・安全委員会への参加と職員への周知を徹底した ・認定資格研修への順次受講と実技の再研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全委員会 (3か月毎第1月曜日)
虐待防止及び身体拘束廃止に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・入所前、退院前につなぎ服や車いすでの安全ベルト等使用していた方の入所や退院に際して、原因を検討し、拘束解除に向けて、尊厳あるケアに努めた ・緊急やむを得ない拘束件数は、0件となっている ・虐待防止に関する指針の作成 ・虐待・身体拘束廃止のためのNG集、言葉替えポスター作成し意識の共有図った 	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止・身体拘束適正化委員会 (毎月第2水曜日)
自立支援ケアの実践	<ul style="list-style-type: none"> ・少しでも元気で、自立した生活を送っていただくように、利用者一人ひとりのアセスメントに基づき、水分摂取による覚醒レベルの向上を図りながら、自立した排せつと栄養摂取、歩行練習の4つの基本ケアを計画的に実践した 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標1日1,500ml ・医師、歯科医師、看護師、リハビリ専門職との連携 ・排便下剤の見直し
食事・口腔ケアの実践	<ul style="list-style-type: none"> ・食事内容、食事形態の随時見直し ・おやつの見直しを行い、おやつの日を決めて、手作りおやつを提供した ・毎日の口腔体操の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事口腔ケア委員会 (毎月第1水曜日)
看取りケアの実践	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の好きな音楽等流し、穏やかに過ごしていただけるよう配慮した ・最期の時まで食べる楽しみを味わっていただけるように好みの物(お酒、果物等)を提供した ・口腔内の乾燥による出血防止と清潔保持に努めた 	<ul style="list-style-type: none"> ・看取り介護委員会 (毎月第3木曜日)
認知症ケアの実践	<ul style="list-style-type: none"> ・4月より認知症ケア専門加算取得し、介護職・看護職別の研修計画の企画実施 ・困難事例の検討、状況分析シート活用し情報共有を行った 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケア委員会 (毎月第3水曜日)
楽しみのある生活への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ過においても利用者の方に楽しんでいただけるような、行事やレク活動の実施 ・四季を感じていただけるようなドライブ企画 ・誕生者へのプレゼントの贈呈 	<ul style="list-style-type: none"> ・バーベキュー・夏祭り ・のど自慢大会 ・バイキング・運動会 ・クリスマス会・新年会 ・セラピードッグ等

【看護グループ事業報告】

新型コロナウイルス感染症の影響で苑の看取りも変わってきました

自由に面会が出来た頃と違い、臨終の時には職員が最期をお見届けご家族にお伝えする形になっています 一方病院では少し緩和されて付き添いが可能になり、最期をご家族で看取られ良かったと満足したお話をお聞きすることも多くなりました
また多様な疾患の入所者もおられ突然急変し苑で亡くなる事もありました

9月には新しく理学療法士が採用され医務室所属になり利用者の方が生き生きと過ごせる様個別リハビリメニュー作成し
フロアと連携し取り組んできました。

項目	内容	備考
他職種との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・新人介護職研修(医療的知識) ・緊急時の対応(窒息・心肺停止) ・すずらんF 行事参加 ・すいせんF 学習会 	7名(4月 9月 12月) 全職員対象 AED・モニター・酸素の取り扱い 朝食バイキング看護要員(2回) 酸素吸入 モニターについて
囑託医等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・山本医師の定時往診(月火水金) ・林病院整形外科医師往診 ・歯科医師往診(斎藤歯科医院) ・山本医師の病状説明 ・苑での看取り死去 ・病院での死去 	15時～16時 15人/日・平均 2回/月 野尻医師(61人) 19回(義歯不具合・義歯作成・抜歯) 15名 22名(内1名急死で検視) 11名(内1名検視)
協力病院等受診	<ul style="list-style-type: none"> ①定期受診(整形・脳神経・眼科・泌尿器他) ②定期受診(精神) 鯖江・福井・越前市 ③短期受診(皮膚科・耳鼻科・泌尿器科等) ④その他(福井大学・日赤HP) 	<ul style="list-style-type: none"> ①林HP 102回 中村HP 47回 ②12回(3人) ③27回 ④6回
主な医療処置	インシュリン注射(3名) 血糖測定者(17名) 点滴処置(延べ人数324人) 心電図検査(10回) 採血(延べ人数 76人) 武生看護専門学校 臨地実習受け入れ	経管栄養 13名 吸引 13名 留置カテーテル管理 4名 間欠導尿1名 9名
入所者の健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・入所者胸部X-P撮影(バス検診) ・肺炎球菌ワクチン(対象者) ・新型コロナウイルスワクチンの接種(1回～3回) ・STによる評価・指導 	92名(6/10) 入所者(ロングステイ含む)職員の集団接種 4月・5月・1月 3名(1回/月)
新型コロナウイルス対策	<ul style="list-style-type: none"> ・朝・夕の検温強化・健康管理 ・面会制限 ・利用者の環境整備・指導 ・高齢者施設等感染対策訪問指導受ける(12月) ・研修会参加(感染対策) ・抗原検査(10名いずれも陰性)(発熱・風邪や症状) 	入所者・全職員 ガラス越し面会 除菌・アクリル板設置 3密回避 県長寿福祉課 丹南健康保険所職員3人 Web研修2回(5/28)(6/25)

【給食グループ事業報告】

給食グループでは「楽しみにしてもらえる食事の提供」「安心安全な食事の提供」を目標に下記のように取り組んでいます。

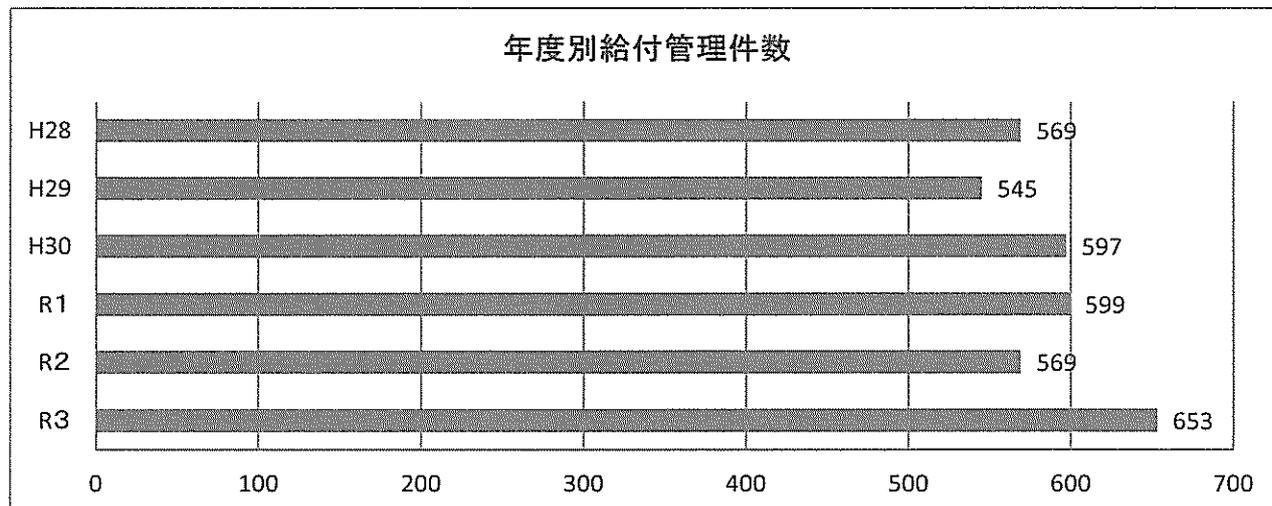
項目	内容	備考
食中毒事故防止	衛生に関する記録の漏れのないよう 確認・注意しました。また7月 11月に給食グループ内で衛生研修 3月には他職とともに食中毒予防研修を行いました	
実習生受け入れ	8月23日から8月27日の5日間 仁愛大学より 実習生2名受け入れし 給食管理実習を行いました。	
嗜好調査の実施	4、7、1月に フロアとデイサービスの職員の聞き取りで嗜好調査を実施しました。結果をもとに 献立への取り入れや希望のあった方の誕生日に合わせて個別に提供しました。	
行事食の実施	毎月 季節や行事に合わせた行事食を実施しました。10月にはデイサービスで昼食バイキングやデザートバイキングを行いました。間食には手作りのデザートを月に2～3回ですが提供しました。	

【居宅支援グループ事業報告】

令和3年度は「ケアマネジメント力を充実させ、居宅支援者の自立支援の向上をめざす」を目標に、居宅支援契約者増加(目標60件)に重点をおいた。具体的な利用者状況等に関しては別紙のとおりである。

項目	内容	備考
相談援助	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回のモニタリング訪問の際には、サービス提供状況や本人満足度、支援目標の達成度、計画変更の必要性を意識することで、効果的に聞き取りできるようにした。 ・新型コロナの関連によるサービス調整を行う必要があり、スムーズにサービスが受けられるよう状況を把握し対応した。 ・家族介護における助言、指導を行い、安定した在宅介護の継続、継続困難時には、施設についての情報提供を行った。 ・がん患者の自宅看取りのサービス調整を行いターミナル支援をした。 	
給付管理	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な新規受け入れを行っていったが、急な体調変化や介護者の状況で入所となるケースもあり、実際の件数と給付管理件数増は昨年と比べ84件増となっている。 ・事業対象者、予防支援者の実績報告を委託されている地域包括支援センターに確実にを行った。 ・加算を伴う、入退院時の連携を確実に行った。 	※グラフ①参照
地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月開催される地域ケア会議に参加し、地域課題を見つけるために事例検討について学んでいる。 ・ふれあいサロンを開催。地区の高齢者の状況を把握しサロンが参加者にとって有意義であると実感した。 	
研修・会議	<ul style="list-style-type: none"> ・南越前町ケアマネ連絡会に毎月参加した。コロナ禍にて対面による協議の機会は減ったが、介護報酬改正に伴うケアマネジメントや虐待、成年後見人制度に関連したケアプラン作成について学んだ。 ・ケアマネジメントを通じて町内における共通した課題を見つける事につながっている。 ・居宅支援に必要な法令についての解釈を確認、学んだ。 	

【グラフ①】



【通所介護事業報告】

今年度も昨年度に引き続き、感染対策を第一に心掛けた。R4.2月に3日間のみ営業休止期間があったが、再開にあたり丁寧な説明を行い、安心して通所していただけるよう努めた。

また、ご利用者様のご意向や要望への対応、日々の健康状態のご家族への連絡により重症化の予防、自宅での生活を継続できるように努め、9月からの理学療法士の配置により個別訓練を充実させ、下肢筋力低下の予防や感染対策を行いながら利用者様が楽しみが持てる行事に取り組んだ。

項目	内容	備考
ケア	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染症対策の継続実施 ・利用者様に合った食事の提供、入浴支援、排泄支援、運動、余暇活動、レクリエーションの実施 ・理学療法士による個別訓練の実施 ・令和3年4月介護報酬改定に伴い、4月より、科学的介護推進加算、口腔・栄養スクリーニング加算に取り組み、ケアの質向上に努めた 	<ul style="list-style-type: none"> ・1日3回の検温、状態観察の継続 ・消毒、手洗い、マスク着用の徹底
職員	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族との連絡帳による情報共有を図った ・介護支援専門員への情報提供を密にし連携を図った ・ご家族の都合による利用時間の延長希望に対応した 	
研修	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン研修や苑内の研修に参加する事で意識を高め、知識を深めた ・研修不参加職員への伝達研修を実施 	
行事	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生会 ・手作りおやつ ・ドライブ ・出前など、ご利用者様に意向を聞きながら実施した ・今年度は12月に併設施設内行事である米寿のお祝いのもちつき大会に参加することができた 	

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比														
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	合計													
介護度	事業対象者	0	24	0	22	0	27	0	18	0	20	0	22	0	21	0	24	0	22	0	22	0	9	0	14	245	+12		
	要支援1	0	0	0	0	0	5	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	12	+12
	要支援2	29	28	26	27	21	19	28	26	27	27	22	37	20	35	22	36	20	32	20	33	16	26	23	32	632	+89		
	要介護1	44	58	39	57	31	76	28	86	17	82	13	73	0	76	0	65	0	69	0	78	0	76	0	78	1046	+288		
	要介護2	18	17	13	14	46	5	50	4	61	5	54	7	58	5	63	5	64	4	68	8	55	13	70	37	744	+259		
	要介護3	1	14	2	12	4	16	5	29	4	47	5	47	17	41	17	31	16	17	16	9	14	15	13	15	407	+287		
	要介護4	9	0	8	0	9	0	9	0	9	0	4	0	9	3	0	7	0	11	0	15	0	9	0	13	115	+73		
	要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	-12	
男女別合計		101	141	88	132	111	148	120	167	118	181	98	186	104	181	102	168	100	156	104	165	85	148	109	189	1,240	1,962		
総合計		242	220	259	287	299	284	285	270	256	269	233	298	3202	+1008														
延べ定員数		330	315	330	330	330	330	315	330	300	300	345	3855																
稼働率 %		73.3%	69.8%	78.5%	87.0%	90.6%	86.1%	90.5%	81.8%	85.3%	89.7%	77.7%	86.4%	83.1%	+26.2%														
新規利用		0	0	1	1	1	4	2	1	0	2	0	2	0	2	0	1	0	2	0	2	0	0	0	1	22	+9		